



# 荒木詩郎後援会ニュース

平成22年5月発行 No.33

後援会 会長 一宮 敬昭

連絡先 荒木詩郎事務所 塩浜4-2 ハイタウン塩浜50-601 Tel:047-395-8171

## 住み良い地域へ3選めざし後援会一丸

### 荒木詩郎市政報告会 & 後援会総会を開催



荒木詩郎後援会は3月21日(日)の春分の日、荒木議員の市政報告を兼ねた後援会総会並びに懇親会を開催しました。雨模様の不順な天候の中、会場には市川市内全域に広がった後援会員約70名が参加、大いに盛り上がりました。

一宮後援会長からは「塩浜にスーパーを誘致するなど、この1年は素晴らしい働きをした。来年の選挙に向けて荒木議員にはますます働いていただき、後援会も盛り立てよう」とあいさつ。次に荒木議員の「市政報告」が



行われ、大久保市政について「基本的には千葉市政を引き継ぐ形。南行徳地域・塩浜地域のために頑張るといふ選挙の時の約束はキッチリ果たしていただく」と力強く語っていました。

引き続き後援会の活動報告、会計報告、監査報告がなされ、22年度の活動方針について提案がありました。

参加者からは、荒木議員の民主党とのかかわりについて質問が出、荒木議員は「民主党の前身となる民社党、新進党、自由党の職員として政治に携わってきたのは事実。しかし、市会議員は政党による党派性に左右されるべきではないと思っ

ているし、現在もそうして地域のために活動している。荒木は塩浜・南行徳の地域の声を代弁するために代表として議員になったのであり、今も今後も変わらない」とキッパリ。来年の選挙に向けて、後援会が一丸となって荒木支援を練り広げることを確認しました。



その後、後援会員手作りの沢山の料理が並べられ、和気あいの懇親会となりました。

# 広尾防災公園が4月1日にオープン

## 「行徳地区にも防災公園を」の主張が6年越しで実現

4月1日に待望の防災公園が広尾にオープンしました。平成16年4月に大洲につくられた防災公園を見て、「同じような防災公園を行徳地区にも（平成16年6月議会）」と質問でもとり上げてまいりましたが、6年が経過してようやく実現にこぎつけました。南消防署の出張所も設けられており、特に南行徳地区に住む市民が安心して生活できるための環境が整うこととなります。大洲防災公園（2.8ha）の経験を活かして作られ、広さも3.7haと大洲防災公園をしのぐものとなっています。緑豊かな敷地内には無料の駐車場も設けられており、ふだんは散策やバーベキューなど憩いの場として市民から親しまれる公園になることが期待されます。

## コミュニティクラブ事業予算は削減すべきでない

「地域の活性化のためにむしろ増額すべき」と3月議会で荒木議員が主張

コミュニティクラブ事業は、市川市の小中学校をブロック単位にして地域のボランティアが遊びを通じて子どもを育てるという趣旨で実施しているもの。「この予算が毎年削られているが、こうしたことを続けていけば、ボランティアのやる気を失わせ、地域全体の元気がなくなることになってしまう。むしろ予算を増額して、使い途にも干渉しないようにするべきだ！」とコミュニティクラブ事業の重要性を指摘して、市の対応を強く求めました。

## 荒木詩郎は無所属として

### 5人の新会派(民主・市民連合)を結成



#### <荒木詩郎議員の挨拶>

3月21日に「荒木詩郎後援会」の第8回総会が開催されました。その際に「荒木さんは民主クラブに入ってから民主党になったのか」という声が複数寄せられました。平成20年8月に民主党公認の議員2名と私の3人で「民主クラブ」を結成して以来、私が民主党の活動に加わったことがあるのは事実です。総会での声は、私の活動を心配してくださったものと強く受け止め、後援会幹部の皆様とも相談して、改めて純粹無所属としての活動に徹することを決意いたしました。

そこで、無所属会派の議員2名も仲間に加え、4月1日から「民主・市民連合」という名称の5名会派として活動していくことにいたしました。ここにご報告申し上げますとともに、私、荒木詩郎は、政党・政派を越えた市民本位の政治姿勢を貫いてまいります。

皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

荒木詩郎・後援会の活動はホームページでも紹介しています。(アドレス<http://www.s-araki.net/>)